



福祉用具－車椅子用クッション

JIS T 9271 : 2015

平成 27 年 12 月 21 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 高齢者・障害者支援専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	鎌 田 実	東京大学
(委員)	荒 木 薫	特定非営利活動法人日本障害者協議会
	井 上 剛 伸	日本生活支援工学会
	大 石 奈津子	一般財団法人日本消費者協会
	長 田 信 一	公益財団法人テクノエイド協会
	倉 片 憲 治	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	鷺 坂 和 美	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	中 川 昭 夫	神戸学院大学
	二 瓶 美 里	東京大学
	根 村 玲 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	畠 中 順 子	一般社団法人人間生活工学研究センター
	平 野 澄 子	主婦連合会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	古 屋 一	公益社団法人日本包装技術協会
	三 浦 晃 史	公益社団法人日本介護福祉士会
	森 川 美 和	公益財団法人共用品推進機構
	山 際 淳	日本生活協同組合連合会
	山 澤 貴	日本福祉用具・生活支援用具協会
	山 本 澄 子	国際医療福祉大学
	渡 邊 慎 一	横浜市総合リハビリテーションセンター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 27.12.21

官 報 公 示：平成 27.12.21

原案作成協力者：日本福祉用具・生活支援用具協会

(〒105-0002 東京都港区愛宕 1-6-7 愛宕山弁護士ビル TEL 03-3437-2623)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：高齢者・障害者支援専門委員会 (委員長 鎌田 実)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	2
5 リスクマネジメントによる設計	2
6 材料	2
7 外観	3
8 構造	3
9 性能	4
10 試験条件	4
10.1 試験室	4
10.2 試料の調製	4
10.3 試験装置などの許容差	4
11 試験方法	4
11.1 耐洗濯性	4
11.2 沈み込み試験	5
11.3 耐久性試験	7
11.4 滑り特性試験	8
12 検査方法	10
12.1 検査の種類及び検査項目	10
13 表示	10
14 取扱説明書	11
附属書 JA (規定) 最大引張荷重の決め方	12
附属書 JB (参考) 設計における配慮事項	13
附属書 JC (参考) JIS と対応国際規格との対比表	15
解 説	17

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づき、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

福祉用具—車椅子用クッション

Assistive products—Wheelchair cushions

序文

この規格は、2007年に第1版として発行された **ISO 16840-2** を基とし、製品規格として一般要求事項を追加し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JC** に示す。また、**附属書 JA** 及び**附属書 JB** は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

車椅子の座面の上に載せて使用するクッションで、車椅子用クッションカバー及びクッション本体によって構成される車椅子用クッション（以下、車椅子用クッションという。）について規定する。ただし、次の車椅子用クッションには適用しない。

- 車椅子と一体となった車椅子用クッション
- 電動車椅子用着脱式標準車椅子用クッション
- 車椅子用背クッション
- 圧切り替え形車椅子用クッション

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 16840-2:2007, Wheelchair seating — Part 2: Determination of physical and mechanical characteristics of devices intended to manage tissue integrity—Seat cushions (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 6253-3 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—硬さの求め方—第3部：デュロメータ硬さ

JIS L 0217 繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法

JIS L 0803 染色堅ろう度試験用添付白布

JIS T 0102 福祉関連機器用語 [支援機器部門]

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS T 0102** によるほか、次による。